こすど公民館報
小須戸町中央公民館
発行所
発行人　成田常信
発行日　毎月15日
印刷所　昭栄堂印刷(有)
一部　15円

少年団体はもうひとつの学びの場です

子供は遊びを通して成長します。
少年団体は子供自身でつくるもうひとつの社会です。

青少年が健やかに、たくましく成長を遂げ、社会人として自立を果たすには、青少年の社会参加をすすめることが大切です。

それには、青少年自身がすすんで社会の諸活動に参加することは当然ですが家庭・学校・地域においても、青少年の成長段階に応じた社会参加の場をつくってやることが必要です。

成長期にある子供にとって、仲間とともに遊んだり、スポーツに熱中したり、協力して自主的、創造的な様々の活動をすることは楽しいことですし子供たちもそのような場を求めています。

また、このような活動を通じて子供たちは体を鍛え、困難に耐え抜く意志を養ない、自ら進んで責任を分担しあい、協力と思いやりの心を培うなど社会生活に必要な知識と技能を身につけていきます。

子供たちが、年齢の異なる集団活動の中で、尊敬といたわりの心を発揮しながら、ルールを重視し、責任を分担しあって体験的に知識・技能・態度を習得していくことはきわめて大切です。

少年団体は、子供にとって家庭や学校と同じく大切な生活体験の場であると共に、仲間と一緒につくりあげるもう一つの社会でもあります。

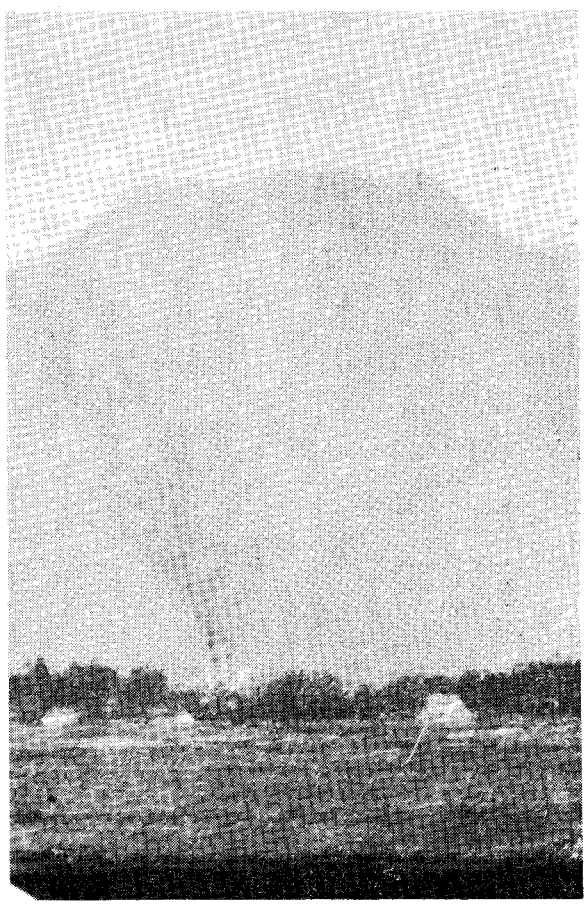
成長期の子供をもつお父さん、お母さん！あなたのお子さんが少年団体に参加し、元気に活躍することをたくさんの仲間が待っています。

地域で活動している少年団体

町には色々な青少年の団体があります。これらは地域の育成者、指導者の援助を受けながらスポーツ、野外活動、奉仕活動など年間を通して行っております。

スポーツ少年団員は全員あつまれ！

小須戸町スポーツ少年団大会運動会
日時＝十一月二十日(日)
午前九時より
十二時まで
場所＝町民体育館
もちもの＝上ばき、タオル、その他必要と思うもの。



五頭暮色　油絵教室　内山和男

分館だより

横水分館

球技大会　於町民体育館
十一月二十三日(祝日)
役員集合　八時三十分
開会式　九時・終了十二時三十分
種目Ⓐバレーボール（九人制）
（対抗）リーグ戦
男子五人・女子四人編成
Ⓑ卓球
㋐対抗種目
一チーム三人編成
（年令・男女不問）
㋑自由練習
参加者全員に参加賞をあげます。
卓球対抗申込み…十一月二十日まで文京町一丁目森田義昭。
卓球部門参加者は各人でラケットを用意して下さい。

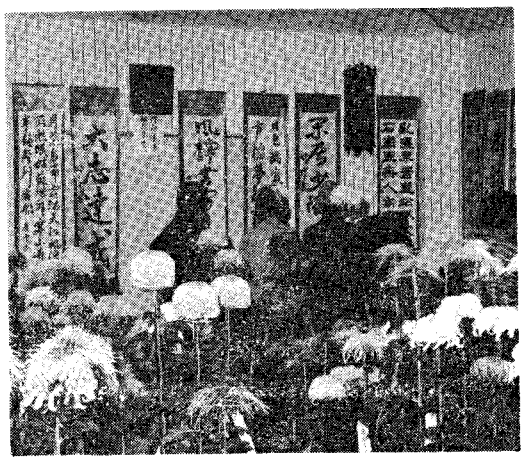
新保分館

第三回新保分館文化祭は、去る十一月五日(土)六日(日)の両日、新保地域研修センターを会場に開催されました。

作品は、書・絵画・手芸・工芸・菊花・盆栽・写真の七部門で三百五十点にも達し、幼稚園児から八十才の高令者にまで及ぶ広い層からの出品でした。

昨年より若干出品点数が減少したものの、全般的に質が向上し、中には格調が高く、参観者をうならせた作品も多く、好評でした。

最終日に菊花展入選者の表彰を行い幕を閉じました。



小須戸分館

次により映写会を行いますので多数ご参加下さい。
日時＝十一月二十二日(火)午後七時三十分～
会場＝中央公民館

こすど町の芸術・文化 (六)

墨画雑文

私等の身の回りに芸術性の高い香りを探して見ますと、有ります有ります。例えば家具の配置、活花の位置、配膳の色どり、内装の色調等々で豊かな心になったり、イライラしたり。そんなことから絵画的な要素が多く存在することを知ります室内に額の一枚、床の間に花一輪、一寸気の利いた掛軸の一幅は知らないうちに心にゆとりさえもたらすことは皆さんすでにご存知のこと。実際絵画をご自分で描かれなくとも、それらがあることで安らぎが求められるのでから、もしご自分で描いてみることができたらと思っておられる方が多いのではないでしょうか。というのは公民館活動の各教室、クラブ等で熱心に学んでおられる方々が多く、又それを希望されながら時間に拘束されてできない方の多いことも知り、当町に潜在するアマチュア芸術家がまだまだひっそりと制作されているのではないでしょうか。三十数年以前、当町に美術同人会なるものがあり数人の同好の志が熱心に制作活動をしておりました。

故人になられた方、他市町村へ移転された方。しかし現在は新らしくその道の探求に情熱を捧げておられる方々を多く拝見することができます。

現在では当町の文化活動も盛んで、各分野に町当局、公民館等の後援もありその頃と格段も条件が良い中で和気あいあいとしながらも、高度な勉強ができることは大変幸せなことだと思います。水墨画教室もその一つであり教室を通じて、皆さんが忙しい日常に心に寸時のゆとりを求めて筆を動かしておられます。そして墨一色の中に、また筆跡の妙を知るに及んで絵の心に触れようとする姿は、やはり上達ではなく、心の糧であるべく努力されているようです。百人百様の方々が一本の筆を持った時その心境は一本の道でしょうか。水墨画及び俳画を勉強するに当り、心したいことの一つを記してご参考までに……。

中国古来に発した南宗画は大変歴史上重要な位置をしめ、文人墨客が多く好んで描いたものとして有名であり、我が国へ取り入れられたのは　室町時代から桃山時代といわれ、当時禅僧の多くが中国文化を我が国へもたらした中に南画があったが、その後桃山時代に隆盛を見、そして我が国の絵画文化と混交し現代風形態が完成したと伝えられています。その精神は「天を描かず、天を知る」ともいえましょう。これは禅の心にもつながるもので、形式、運筆、技法等よりも画の心を第一義として描かれます。俳画はこの南画から詩人、文人が我が国固有の俳句に絵を付けて、これを俳画となしたもので、自由奔放に描かれて妙味のあるものです。

雑文でしたが、僅かに妙意を求めて日々是好というところでしょうか。

閑人筆

○隣人の条件
○家族の条件
その後座談会があります
主催＝分館婦人部

"新津公共職業安定所よりお知らせ"

○雇用保険の不正な受給を防止するための啓発月間（11月1日～30日）

雇用保険制度の目的は失業した労働者の生活を図るとともに求職活動を容易にする等その就職を促進することにあり、従来からこの制度の趣旨に沿った運営に努めて来たところです。

しかし、この制度の趣旨に反して不正の行為により失業給付の支給を受ける者が増加する傾向となり、昭和五十七年度にはその件数、金額ともに大幅に増加しました。

このような状況に対処して適正な失業給付の支給を行うため職業安定機関においては　本年十一月一日から三十日までの一カ月間を「雇用保険の不正な受給を防止するための啓発月間」と定め、不正な受給を防止するための啓発活動等に取組む外関係各方面の協力を呼びかけることとしました。

≪役場よりお知らせ≫

栄養改善料理講習会のお知らせ

食生活改善推進委員による料理講習会が、左記により開かれます。ご近所おさそい合わせの上ご参加下さい。
日時＝十一月二十日
六時三十分～
場所＝小向公会堂

第32回新潟県剣道大会

10・30　県立新発田高校

主催　新潟県剣道連盟

浅見・矢部十代個人戦で大活躍

十代個人戦
・男子の部
二位　浅見和宏
決勝戦
浅見(小須戸)㊐－㊙㊙酒井(新潟)
・女子の部
二位　矢部かおり
決勝戦
矢部(小須戸)－㊐堀(上越)－

矢部かおりさん

団体高等学校の部
小須戸剣3－1柏崎剣
〃　1－4新発田剣

第23回 町民庭球大会結果

去る十月三十日（日）に行われました町民庭球大会は次のような結果でした。

男子Aクラス
一位　星名・山田組
二〃　小林・藤田〃
三〃　和気・星野〃
〃　久保田・保科〃
女子Aクラス
一位　上脇・栄森組
二〃　内山・五十嵐〃
三〃　長井・古石組
〃　阿部・安達〃
男子Bクラス
一位　鈴木・小見組
二〃　五十嵐・斉藤〃
三〃　河内・星田〃
〃　斉藤・吉川〃
女子Bクラス
一位　横山・内山組
二〃　丸山・渡辺〃
三〃　丸山・真保〃
〃　野崎・五十嵐〃

レコードコンサートのご案内

＜クラシックの部＞
日時＝十一月十八日(金)
午後七時三十分～
＜ジャズの部＞
日時＝十二月二十六日(土)
午時七時三十分～
会場は中央公民館
二階視聴覚室

おり紙動物園

親子で楽しく折りましょう。折り紙で出来た動物が、みなさんを待っていますよ。
日時＝十一月十九日
(土)午後二時三十分～
会場＝中央公民館
二階学習室

女声コーラス発表会～小須戸町女声合唱団　日時　11月26日（土）午後7：00より　会場　小須戸町中央公民館3階ホール

芸術の秋、スポーツの秋
盛大に幕を閉じた文化祭

十一月三日より六日の四日間、中央公民館にて文化祭が行われました。

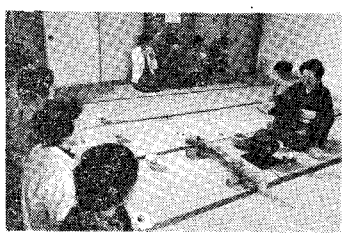
三階ホールの町民展をはじめVTR公開、夜七時より映写会、お茶、お花、無線クラブの催し、スポーツ少年団コーナーなど多種多様な催し物でにぎわいました。

またスポーツの方でも三日に駅伝大会、柔道、剣道大会でにぎわいました。

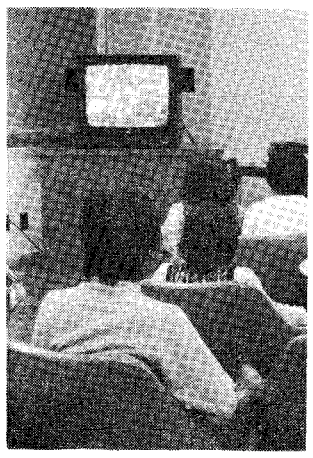
ますます盛大になる文化祭です、来年も張りきって、みんなで参加しましょう。

次に文化祭のごく一部を紹介します。

▲三階ホールは文化協会主催による町民展でした。



▶二階会議室（畳の間）では茶の湯研究会の皆さんによる催しが行われました。たくさんのお客様がいらしたそうです。ちなみにどなたでも無料です（六日）



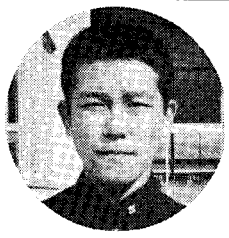
▶二階視聴覚室ではスポーツ少年団コーナーとして写真などを飾りました。またVTRを公開したり、夜七時より映写会（マンガ映画等）をやりました。こういう視聴覚関係の催しは子供達に好評でした。（三日～六日）

第二十八回柔剣道大会
剣道優勝二種目

十一月三日祝日、県下各地より柔剣道選手約千名の参加者で各部とも熱戦の連続で盛会のうちに終了できました。成績は次のとおりです。

＜剣道の部＞
○一般男子の部（団体）
一位　白根市剣工会
三〃　小須戸剣連
○一般女子の部（団体）
一位　新潟中央高校
三〃　小須戸剣連
○中学男子の部（団体）
一位　白根第一中
○中学女子の部（団体）
一位　燕中学校
○小学生の部（団体）
一位　立志館A
＜剣道＞（個人戦）
○一般男子の部
一位　浅見和宏（小須戸剣）
○一般女子の部
一位　渋谷あゆみ（栃尾）
三〃　矢部かおり（小須戸）
○中学生男子の部
一位　加藤敏昭（小須戸剣）
二〃　砂井正幸（〃）
中学生女子の部
一位　小海　慈（栃尾中）
○小学生の部
一位　堀内真司（立志館）
＜柔道＞
○一般団体の部
一位　日本警備保障上信越
○高等学校の部
一位　加茂暁星高Aチーム
○中学生団体
一位　新発田市スポーツ少年団
三〃　小須戸中Aチーム
○小学生の部
一位　新発田市スポーツ少年団
○一般個人の部
一位　萱場英明（日本警備保障）
○高等学校個人の部
一位　吉沢浩二（加茂暁星高）
○中学生個人の部
一位　北沢康史（新発田スポ少）
三〃　泉　雄二（小須戸中）
○小学生個人の部
一位　渡辺　一（新潟北部柔ク）

浅見和宏君
一般男子の部優勝



加藤敏昭君
中学男子の部優勝

（続）小須戸風土記
感応寺の老松

柏　大治

感応寺さんは三条の日蓮宗本成寺派の末寺であります。一寸、法華宗ともいえます。法華経にふれてみたいと思います。

その昔、十耳の王子、聖徳太子は法華経を中心に政治をおさめ、男性に維摩経を女性に勝鬘経を二十五条の袈裟にかけられてお話しをされたことは有名のことであります

夫妙法蓮華経者からかかれている法華義疏、聖徳太子筆は国宝として遺っています。推古天皇三十年（六二二）薨去されています。

日本書道の上でも日本最古のものとして注目すべき点でありましょう。

くだって比叡山の伝教大師も天台宗すなわち圓頓戒宗にも法華経を入れています。鎌倉時代になって日蓮上人が妙法蓮華経をもって一宗を開きました。法華は観音の法門をといています。観音様とは聞思修の法行です。

本成寺派は日蓮の弟子日印上人が白牛に乗って午が止まった地に本成寺を建立されました。

天ケ沢の感応寺は本成寺管長の隠居所で十八世日延上人が寛文十二年（一六七一）に開基されています。小生は日延住居前から小庵があり留守職を置くという古文書を見たことがあります。

日延、日海、日堂、三上人が住居されました。

昔は山林五町余、田五町余あって檀中など少なくても困らぬ寺のようです。

広瀬住職さんとは東京で有名な四谷怪談のお墓のある妙行寺修行僧時代からの知人ですが、先般教育委員会の青木さんと老松のことでお伺いしました。広瀬さんは日延上人は松を非常に愛し、松の前にお堂を建立されたのではないかとお話しされました。同感です。

前住故土田照山師から一度拝見させて頂いた。珍品か寺宝か信濃川の舟の往来から小須戸の家なみからだん〳〵山頂の感応寺が手に取るように描かれています。特に松三本美しく立体的な手法で当時の寺院も立派にかかれていました。

伊白法眼筆です。年号もありません。土佐派の名画工と思われますが、後日調べたいと思っています。ともあれこの松に日延上人を始め代々の上人さんは妙法蓮華経のように美しく養ってくれと朝に夕に自我偈を上げられたとの伝説があります

登り来て先づ一息や
松の風

寛文年間以来の松として年輪三百年以上の老松で気品があり、なんともいわれない尊厳がある。

松の枝ぶりといい、頑張った根の張りといい県下にこんな立派な松はないであろう。天然記念物文化財として手厚く保護したいものである。

何百年も風雪に耐え、人間のように不平、不満をいわず。生き抜くことの尊さを無言の内に教えてくれる。金も名誉も求めず。小須戸町にもこんな松があることを町民皆さんと共に誇りとしたいものです。皆さんも機会があったら一度見物して下さい。

ヨ～イスタート！
第12回町民駅伝大会

秋晴れの中、午前十時四十分にスタートした町民駅伝大会は、参加者全員の完走で終了しました結果は次のとおりです。

高校の部
一位　新津南高校庭球男子

一般の部
一位　中学校A
二〃　〃　三年二組
三〃　〃　B

全長一四・八五km
参加チーム七チーム

中学生文芸
「第一回小須戸町俳句大会」から
川島彷徨子先生選

入選

夏終り波の音だけ浜に残る　渡辺　淳子
秋の海浜には誰もいなくなり　〃
グランドは梅雨空の下鼓笛隊　大場久美子
晴れた空白根の瓶が舞い上る　〃
秋近しくらげプカプカ浮かんでる　上田　完司
夏草を刈る大鎌の心地よさ　高山　一徳
通学路黄色に色づく稲穂かな　板谷　靖史
万緑に水車の回る飛騨の里　小柳　一浩
裏林うるさいほどに蟬時雨　佐藤　史朗
雨の朝うるさい蟬も鳴かぬなり　本望　正子
新緑の色に包まる飛騨の里　高野　英二
暑い日は猫の真似してごろ寝かな　加藤　和彦
欧風の建物涼し明治村　〃
飛騨の里まだ泳いでる鯉のぼり　村山　健輔
朝市をのぞけばかすかにいちごの香　新井田理奈
風そよぎ風鈴の音聞こえくる　田沢　範子
叢に姿見せずに虫の声　田沢美佳子
新緑の朝の高山音静か　磯貝　樹子
奥飛騨の崩える緑に目を留む　坂井華奈江
虫取りに元気な子供とび回る　畑中　京子

特選

ひんやりと辺り冷たし鐘乳洞　吉田　徹
籠の中子供のとりし甲虫　佐藤　史朗
飛騨の里色鮮かに藤の花　竹内　早苗

十月句会報
小須戸町俳句同好会

高野宿野菊一輪の馳走かな　可津朋
ペタル踏む膳（すね）の冷ゆるや半ズボン　松男
籾摺るや孫が来て米散らかせり　虚秋
旅の本燈火親しむ物として　素糸
赤とんぼ止りし肩を動かさず　良遊
それぞれの生き様のあり曼珠沙華　久子
敬老会五指に折らるる齢もて　松山
雨あがる河原畑より鳥威し　越楼
道問えばコスモス招く曲り角　冨沙子
無花果をもぐ手に窓の妻指図　英三郎
一と処大うねりして稔りの田　庄三郎
蕗抗の入口ふさぐ鬼芒　妙子
秋深む遂にふたけた村の葬　香月
秋茄子をどさりと抛る厨口　ミナ
鶏頭の重さに壺のぐらつきぬ　芳人
十六夜の川風紋を刻みおり　和子
手のひらで籾むき実りたしかめる　蒼穹
ポケットの鍵もてあそぶ雁の空　秀穂
段なして海になだたる稲田かな　露春
鰯雲浜の夕耀（せり）すぐに果つ　樫男
たましいの抜けし案山子を仕舞いけり　石秋

短歌

死に際の兄の心は知る術もなく軍帽の徽拭き仕舞う　我妻　清作
（全国短歌大会現代歌人協会。朝日新聞社第二席入賞作品より）

催しものご案内

婦人研修会のご案内

次により婦人研修会を開催いたします。地域婦人の役割など、ためになる研修会です。ぜひご参加下さい。

日後＝十一月二十七日（日曜日）午後一時より
会場＝中央公民館三階ホール

"婦人の集い"ご案内

～お気軽にご参加下さい～

婦人の集いを左のとおり開催いたします。あなたもぜひ一度参加してみませんか。

日時＝十一月二十五日（金）午後七時三十分～
会場＝中央公民館二階学習室
講師＝親松四郎先生

"新たにスタート"ポピュラーコンサート

ロック・フュージョンから、歌謡曲、軽音楽まで、幅広いジャンルの曲の中から、特集を組んで紹介します。

日時＝十一月二十五日（金）十九時三十分～
曲＝話題のアルバムを集めて(1)（フラッシュダンス外）

どなたでも気軽においで下さい。

☆　☆　☆